

令和6年度病害虫防除技術情報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

モモせん孔細菌病の防除を徹底しましょう

1. 対象作物：モモ
2. 対象病害虫名：モモせん孔細菌病
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：やや多
5. 発生時期：4～8月
6. 発生状況

1) 4月中旬の春型枝病斑の発生ほ場率は40%（平成22%）と広域に発生がみられた（表）。

表 モモせん孔細菌病の春型枝病斑の発生ほ場率と発病枝率

	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	平成 平均	令和 6年
発生ほ場率 (%)	30	20	20	0	90	50	0	10	0	0	22	40
発病枝率 (%)	1.3	1.0	1.6	0	4.5	2.9	0	0.1	0	0	1.1	0.8

注) 調査ほ場数：10ほ場、調査時期：4月中旬

7. 防除上の注意事項

- 1) 葉や果実への感染を防止するため、伝染源となる春型枝病斑形成枝（写真）を徹底して除去する。
- 2) 落花後から袋掛け前までの期間に殺菌剤散布を徹底する。抗生物質剤を中心に降雨前の予防散布を心掛け、7～10日間隔で丁寧に散布する。
- 3) 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長するので、複数系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- 4) 風雨による果実への感染を防止するため、袋掛けは袋の口に隙間ができないよう丁寧に行う。多発ほ場では早めに袋掛けを行う。
- 5) 防風ネットが破損した場合はすぐに補修する。また、防風樹の管理に努める。
- 6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に早生品種では薬剤の収穫前日数に注意する。

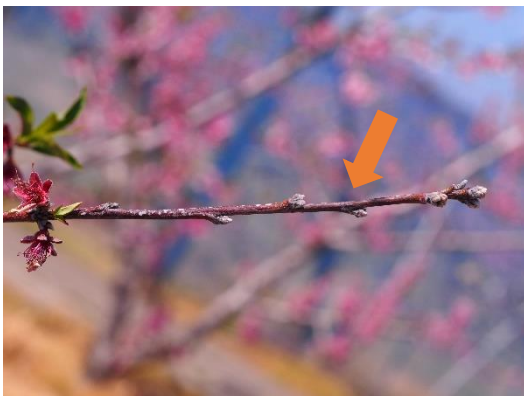


写真 モモせん孔細菌病の春型枝病斑（芽の枯死、紫褐色～紫黒色の病斑）

担当：農作物病害虫防除所 紀の川駐在  
電話：0736(73)2274